

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

血液透析患者における社会的孤立が通院継続に与える影響および社会的孤立と身体機能の関連

研究期間：2025 年 4 月 1 日～2025 年 11 月 9 日

対象材料：

- ☐ 病理材料（対象臓器名： ）
☐ 生検材料（対象臓器名 ）
☐ 血液材料
☐ 遊離細胞
☒ その他（診療録 ）

上記材料の採取期間：2024年11月～2024年12月

意義：

高齢者における社会的孤立は、身体機能の低下など複数の因子と関連し、死亡率や要介護リスクの上昇に繋がることから、公衆衛生上の重要な課題とされている。血液透析患者の高齢化に伴い、身体機能の低下を背景に、通院に他者の支援を必要とすることも少なくなく、社会的孤立は通院継続に影響し得る要因である。しかし、血液透析患者における社会的孤立が通院継続に与える影響や身体機能との関連は明らかにされていない。

目的：

心不全患者における SGLT2 阻害薬内服の有無と生命予後の関連性に対する身体機能の影響を検討すること。

方法：

血液透析患者における社会的孤立が通院継続に与える影響および社会的孤立と身体機能の関連を検討すること。

個人情報の取り扱い：

患者様の個人情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用する。また、研究成果を理学療法関連学会で発表するが、患者様個人を特定できる個人情報は含まない。

問い合わせ・苦情等の窓口：

$$\overline{750-8520}$$

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 リハビリテーション部 月城 一志

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838